

オリジナルの花の装い「花結」を寄贈

結城市内の上條君子さん

結城市内にお住いの上條君子さんから2月6日、オリジナルの帯と花、花瓶によるコラボレート作品「花結（はなゆい）」2点を城西病院に寄贈していただきました。

上條さんは、以前から着物の着付けをしていて、たんすの中で眠っている帯を活用できないかと5年前に考えついたのが、この花結です。花瓶の中に帯を美しい形に整え、シャクナゲなどの造花で美しく飾った作品です。和装の帯は、切ったりすることなく、一本をそのまま利用しています。

「形を考えるまでが時間がかかり、出来上がって2、3日置いて、気に入らなければまた作り直します」という上條さんのこだわりの作品。

今回は、「和の感性を大事にして作りました。花瓶などを洋風にアレンジすることもできます」と話していました。

城西病院では、この作品を病院の正面玄関とドイトンコーヒーに飾っています。

平成29年2月6日

